

そうず 寒水研究室 ～医療統計学～

Sozu laboratory Biostatistics

医療を発展させる統計学のチカラ

Q. なぜ寒水研究室を選んだのですか

3年生までにいろいろな講義を受講しました。
その中でも、データに基づいて新たな知見を
みつける統計学に魅力を感じました。

本学科には統計学を専門とする研究室がいくつか
ありますが、医学・医療に関する幅広い問題を
とり扱っているのが寒水研究室の特徴です。

つまり、わたしが寒水研究室を選んだ理由は
統計学の魅力と寒水研究室がとり扱う研究テーマ
のおもしろさです。



Q. 寒水先生はどんな人ですか

理科大の出身者です。

2015年4月に京都大学から
戻ってきました。

学生に対してとてもフレンド
リーに接してくれます。

とても優しく家族思いな
2児のお父さんでもあります。

Q. どんな研究をしていますか

この研究室は医療統計学を専門としています。

「ん？ 医療統計学ってなに？」って思いますよね。

もう少し具体的にいうと、医学研究や毒性試験の
試験計画(データの集め方や整理の仕方)、
そのための理論、技法、解析方法といった方法論に
ついての研究を行っています。

さらに、医学研究や毒性試験における実際のデータ
を解析して、得られた成果を社会に還元しています。

統計に関する研究をしたいという方ならどなたでも
大歓迎です！

Q. 研究室の雰囲気教えてください

一言でいうと、とても居心地のよい研究室です。
飲み会やスポーツ大会などのイベントを
定期的に行っています。

学科の中でも、とくに仲の良い研究室です。

メンバー全員が真面目な人ばかりなので、
研究をするときは真面目に、
リラックスするときは楽しくおしゃべりするなど、
メリハリのある研究生活をおくっています。

この研究室では自主性を重んじているので
自身のテーマを自分で決めることができます。

もちろん、研究について不安や心配なことがあれば、
先生や大学院生が何でも相談にのってくれます！



とり組んでいる研究の例

疫学研究

有害事象の自発報告データベースを用いた
医薬品の安全性評価

日照時間が鉄道自殺に与える影響の評価

統計学一般

臨床試験の累積データを新規試験データに
組み込む方法に関する研究

標的部分集団解析を設定する臨床試験の計画と
データ解析に関する研究

日本の薬学部・歯学部における統計学の
講義の実態調査

医学研究

アルツハイマー病の臨床試験における
主要評価変数の選択状況の調査

大動脈弁膜疾患の発症・進展予防の解明

保険薬局薬剤師による高血圧患者への
生活習慣改善支援に関する研究

毒性試験

化学物質の皮膚感作性(アレルギー反応)を
評価する試験法の構築

キャリアパス(修士課程に進学した場合(予定))

- 産業界
試験統計家(製薬企業、医薬品開発業務受託
機関)
- 官公庁
統計審査官(医薬品医療機器総合機構)
- 学術機関
教員・研究者(大学・研究所)
実務統計家(大学病院)



2016